

令和 6 年度第 2 回モニター会議の総括（案）について

- 1 開催日時 令和 6 年 6 月 28 日（金）18 時 30 分～20 時
 2 開催場所 役場 3 階傍聴ラウンジ
 3 会議手法 参集（「SOUND カード」を用いたグループワーク）
 4 出席者 モニター14 名／議員 16 名／講師：佐藤淳サポーター
 5 議論テーマ 「新嵐山スカイパークの新たなあり方について」
 6 意見のまとめ

1	子どもたちがおもいっきり遊べる!! 「キッズパーク嵐山」。 動物に触れ合えて、キャンプしたり、登山したり、ボートに乗ったり、釣ったり、アドベンチャーできるメッチャ楽しい嵐山にしてほしい。
2	①春、夏イベントで場所を貸し出すのを前面に出す。マルシェ、キッチンカー、音楽イベント、動物と一緒に楽しめるイベント（犬種によって分けたり）。 ②家族で楽しめるスキー場。オシャレな方じゃなくリーズナブルで行きやすい。
3	使う人の目線に立った「あり方」を考えていくこと。 ①施設、人、資源をどう活かしていくのか。 ②官・民それぞれではなく、共存していくためには何が必要か。 ③使う人はそこでそれだけの満足を得るのか。 財産を活かすもダメにするのも人。互いに WINWIN になる方法を考えるべき。
4	① まずは町民が楽しめる施設としてあること。 ② 人・金・モノが整備され、外からも人が集まる場所であること。 ③ 人の目に立ち（ニーズ）に応えられる施設であること。 ④ 今日この時の気持ちを忘れずにいること。
5	自然やスキーに親しみ、イベントや家族の行事にも対応できる、「また来たい」と思っていただけのようなホスピタリティあふれる場所。
6	まずは、町民のための新嵐山＝「芽室町の宝」。町民に喜んでもらえるような。町民が誇りに思えるような場所。 誰もが、利用しやすい工夫が必要。安心安全な場所（環境整備）。自然を知る機会があるといい（グリーンシーズン）。スキー場の再開。郷土愛を育む活動をしていきたい。
7	楽しい思いができる場所。 ・キャンプやスキーを楽しむ。 ・スポーツや音楽を楽しむ（モルック、フェス、体を動かすイベント、おいしい食）。 ・自然の中で騒いで楽しむ。老若男女皆が交流できる楽しい場所。

8	<ul style="list-style-type: none"> ・新嵐山周辺の景観、環境整備 ・話題性のある場所づくり（今回を機に復活の場所として） ・住民をはじめ、町外の人にとっても癒しの場であってほしい
9	オープンな話し合いで方向性が決まってくるとよい。稼ぐために議論の前に、100年後にどのような存在であってほしいかを話し合いたい。
10	<ul style="list-style-type: none"> ・環境を整える（林道等開放しているスペースでも荒れているところ） ・スキーシーズンに向けての整備 ・指定管理者になる事業者次第にはなるが、新たな事業を出来るかどうか。
11	<ul style="list-style-type: none"> ・大いに町民の力を借りる→参加型。花を植える、森林を再整備する。 ・教育の場として再生する。環境、防災、育てる＝自然体験 ・景観の価値を再認識する（売りにする） ・全年齢が楽しい場所にする
12	1年中、人が集まる観光スポット。自然や食、今もこれからもここは「これ」があるという核になるものを後世に残したい。
13	<p>「日替わりオーナー」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貸スペース、貸キッチン、貸ライブ施設、貸バス <p>拠点貸しもある!?結婚式、マルシェ、雪中レク、たき火、かまくら雄大な自然の中でみんなのアイデアを実現</p>
14	<ul style="list-style-type: none"> ・観光ではなく憩いの場になればいい ・キャンプ場の開放 ・気軽にイベント等で使用できるようにする ・スキーの授業だけでもできるようにする

7 総括（※モニター会議での意見を議会としてどのように活用・反映するか）

議論のテーマ（「新嵐山スカイパークの新たなあり方」）について、グループワークで出された参加者の意見を「6：意見のまとめ」として整理した。また、会議に欠席したモニターに対してもアンケート形式で意見を聴取した。これらの意見については、当初の計画に基づき「新嵐山経営改革調査特別委員会（以下「特別委員会」という。）」に引き継ぎ、「特別委員会」では全委員で共有すると共に「新たな新嵐山スカイパークのあり方及びランドデザインの策定」に際する調査研究の基礎情報（住民の声）等として活用する。

8 特記事項

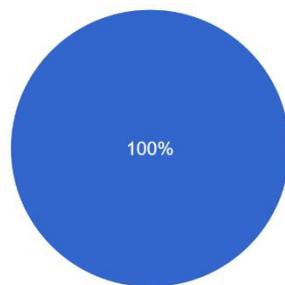
- | | |
|--------------------|-----|
| (1) モニターアンケート（出席者） | 別紙1 |
| (2) モニターアンケート（欠席者） | 別紙2 |
| (3) 議員アンケート | 別紙3 |

令和6年度第2回議会モニター会議モニターアンケート（出席者）結果

令和6年7月16日集計

1. 開催した日時はいかがでしたか？

11件の回答

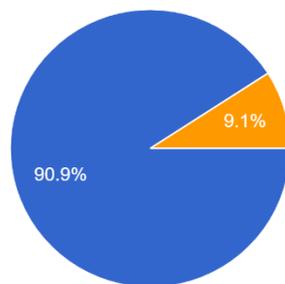


- ① 概ね良い
- ② 改善が必要

① 11

2. 開催時間（1時間半）についてはいかがでしたか？

11件の回答



- ① ちょうどよい
- ② 長い
- ③ 短い

① 10

② 0

③ 1

3. 当日の運営について（方法、内容、進行など）いかがでしたか？

11件の回答



4. 「SOUND カード」を活用しての話し合いの場はいかがでしたか？

(10件の回答)

- ・スムーズに進行出来て良かった
- ・話す要点が絞れて、初対面の方々に対して話がしやすかった
- ・初めて会う人とでも、軽い話題から徐々に話が深まり、お互いの価値観が垣間見える感じがありました。アイデアの発散だけでなく、なんとなくですが、こんなことをしてみようかな、と動機づけられる雰囲気でした。
- ・自分が話したいと思うカードを選ぶことが出来て、話しやすかった、
- ・初めて SOUND カードを使っただけの話でしたが、また違うテーマで SOUND カードを使って話し合いをしたいと思いました。
- ・話す内容のカードを選んでいるので話しやすい。
- ・様々な角度からの意見やお話が聞けて、新鮮ですし興味深く楽しかったです。
- ・アジェンダについての意見を話しやすかったし、聞きやすかった。全員に均等に話す機会があるのが良かった。
- ・最初はカードで話が進むとは??と疑問でしたが、やってみて納得。簡潔に話せてとても良かったです。
- ・とても参考になり、楽しかったです。今後も活用したいです。
- ・設問について答えるので発言しやすい。

5. 「新嵐山スカイパークの新たなあり方」について、さらにご意見がございましたらお聴かせください。(6件の回答)

- ・再始動を楽しみにしています！
- ・もう少し具体的に皆様と話したいと思いました
- ・外部に委託しないで役場職員が自ら考えて運営まで行い実績を積み重ねて経験値を高めるべき。
- ・町民のための新嵐山を軸にした再生が民意なのだと、改めて実感しました。

- ・嵐山に何を求めるかは時代によって変わると思う。再出発を機に、定期的に町民が関わって嵐山活用の方針を話し合うと良いのではないか。
- ・昔ながらを売りにする（危険な所は撤去か改善）これ懐かしい！と楽しめるパーク作り。
- ・宿泊、入浴施設は存続させてほしい。

6. 全体を通して何かありましたらご自由に記載願います（7件の回答）

- ・今まで最後に行われていた代表者による発表がなくて今回は気疲れする事なく参加出来ました。
- ・議員の方々ともお話ができ、貴重な機会となりました。またよろしくお願い致します。
- ・講師の先生が上手くリードしてくれました。
- ・SOUND カード、楽しかったです。ありがとうございました！
- ・SOUND カードを使って、議員の皆さんがそれぞれ場を開いても良いのではないかなと思いました。カードがあるだけでは、今回のような場はできなかつたと思います。まずはテーマがないと始まりませんし、呼びかける人の熱意もないと、参加者の「ひとまずやってみるか」という気持ちも生まれず、場が充実しないと思いました。これは「誰が呼びかけるか」が大事な気がしました。
- ・議員さんが率先して SOUND カードを取り入れて、町民とフラットな場で対話をしているのはさすが芽室町だと思いました。
- ・町民でカードを使って話したい人を20名位、募集してみて、また話し合うのも意見が色々出て良いのではないかと思います。

令和6年度 議会モニターのみなさんへのアンケート（会議を欠席された方）
-4名から回答-

令和6年7月16日集計

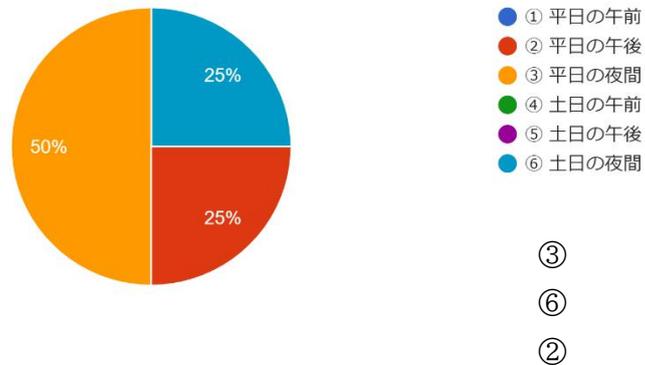
1. 日々の暮らしで気になっていることをお聞かせください。（3件の回答）

- ・ 少子高齢化に伴い、町内会も高齢者が多くなってきており、役員の成り手不足が深刻な状態。一人暮らしの高齢者をどのように町内会全体で見守って行くかが今後の検討課題。
- ・ 農村地域の道路にポイ捨てのゴミが気になる時があります。
- ・ 若い世代の町民の動きが目立ってきてはいるが、内輪で盛り上がっている感は否めない。まちづくりをしようと思って始めてしまうと、自己犠牲の考えのもとただ町民が疲弊してしまう。まちづくりということは抜きにし、町民1人1人が本当はどのようなことをしたいのか？それを突き詰めれば結果的にまちづくりにつながると思う。

2. 新嵐山スカイパークの新たなあり方について、思っていることや考えていらっしゃる事、ご提案やご意見などお聞かせください。（4件の回答）

- ・ 以前のようなグランピングや個人のキャンプで賑やかな場所になってほしい。
- ・ 昔あった産業祭りのようなイベントを嵐山で開催したら良いなと思いました。
- ・ 最新の情報をメディアを通じて得るイメージがあるので、町から説明会などを開催していくことが必要と感じる。
- ・ 道端になぞなぞを置いてみる

3. 意見交換を開催する場合にどの曜日や時間帯なら出席しやすいでしょうか。
4件の回答



4. 議会に対して何かご意見がありましたらご自田にお書きください（3件の回答）

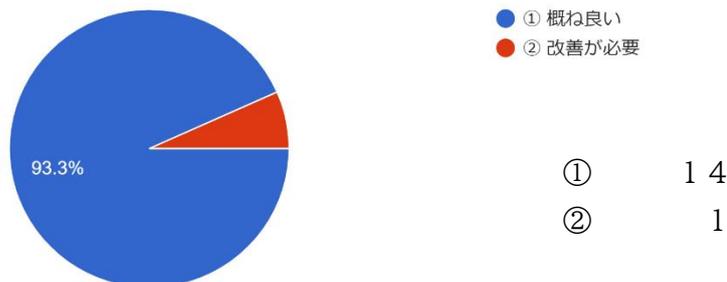
- ・スマホだと議会のLIVEが視聴できない（録画されたものは見れる）のですが何故でしょうか。何か特別なアプリのインストールが必要でしょうか。
- ・前回欠席して残念です。
- ・仕事の都合上、欠席が多くなり申し訳ございません。

令和6年度 第2回議会モニター会議 議員アンケート結果

令和6年7月16日集計

1. 当日の運営について（方法、内容、進行など）

15件の回答



2. 「SOUND カード」を活用しての話し合いの場はいかがでしたか？

(15件の回答)

- ・とても良いスムーズな進行だった。
- ・進行もスムーズで、グループ内で他の方の意見をじっくり聞くことができた。
- ・参加者全員が、グループワークにおいて平等に考えを発言する機会を提供出来る、最も的確な手法であると思いました。
- ・円滑に議論を行い一定の成果を出すためには非常に良い場だと思いました。
- ・良かった。テーマに合わないカードがあったが、それでも工夫し話す、考える、大事なアイテムと思う。
- ・昔のビジネスゲームを想起して楽しく有意義に出来た。
- ・カードの質問の選択が迷うところだが、議員間討議の一つの手法として目新しく良かった。
- ・質問を自ら選ぶことで、強制されない話し合いの場の実現ができたと感じます。議員がテーブルでリーダーシップをとらなくても、平等に話し合いに参加できる手法ですので、主催する側にとっても負担感が軽減されると思います。
- ・新たな討議、共有の手法として大変参考になりました。モニターさんとのいい話し合いの場となりました。
- ・いつもよりも話しやすいと感じました
- ・対話補助ツールとしてはよかったと思う。またグループ内の人たちがほぼ同じよう話す時間を確保できるのはいいと思う。

- ・好評でした
- ・具体的な意見が出て良かった。次回からも sound カードが活用出来るよう備品としてあると良いと思う。
- ・新鮮であった、メンバーの意識が掘り起こしやすいのかなと思った。
- ・自分が選んだ(sound カード)に無理に合わず、理由を説明する為、本質(本音)を言うことが難しい。

3. 全体を通して何かありましたらご自由に記載願います (11件の回答)

- ・今後も様々な場面で SOUND カードを活用したい。カードの購入も検討してはいかがか。3ステップ以降の SOUND カードを使用した議論を試みたいのです。
- ・サポーターの人の会話に有意義な意見・考え方が垣間見られる有意義であった。
- ・議員間討議について、とても為になる。期が変わる毎に実践を兼ねた研修を希望する。
- ・モニターさんには会議での話し合いに楽しく参加していただき、参加し甲斐を持ってもらうことが大切だと考えます。 これまでもモニターさんからは概ねモニター会議参加には好評を得ていますが、この度新たな手法、SOUND カードを用いることを共に学べたことで、
これからの話し合いをより深化させたいと考えました。
- ・参加されたモニターさんの嵐山に対する強い想いを感じました。イベントを企画された方、地元から感じる嵐山、芽室に住み始めた方など、色々なお話を聞くことが出来ました。共有の時間が足りませんでした。
- ・何度か自分達で会を開催してノウハウを身に付けると、議会の力になると思います。
- ・(Sound)カードで意見を言いやすくなった。